

水田たより 3月号

令和3年3月1日

JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

育苗時にできる病害虫対策

令和2年は、業務用米や飼料用米といった中晩生品種でニカメイチュウによる芯枯れ、トビイロウンカによる坪枯れといった被害が発生しました。



越冬したニカメイチュウ及び梅雨時期に中国大陸から飛来するウンカ類は、世代を繰り返して個体数を増やします。個体数の増加を初期段階で抑えるため、これらに効果の高い育苗箱施用剤を使って予防防除を行いましょ。被害を確認してからの本田防除では、十分な効果が期待できません。

有効成分名	農薬名(一例)	特記事項
トリフルメゾピリム	フルスロツトル箱粒剤	いもち病、紋枯病、初期害虫、ウンカ類、チョウ目に効果。
ピメトロジン	フェルテラチエス箱粒剤	初期害虫、ウンカ類、チョウ目に効果。WCSに使用可。

※農薬は使用前に必ずラベルを確認し、使用時期、使用量、使用水量等を守って利用しましょう。

移植時にできる匍匐性雑草の対策

■ 匍匐(ほふく)性雑草の種類

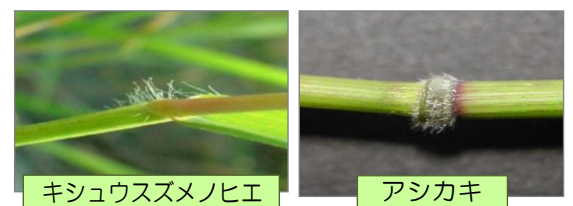
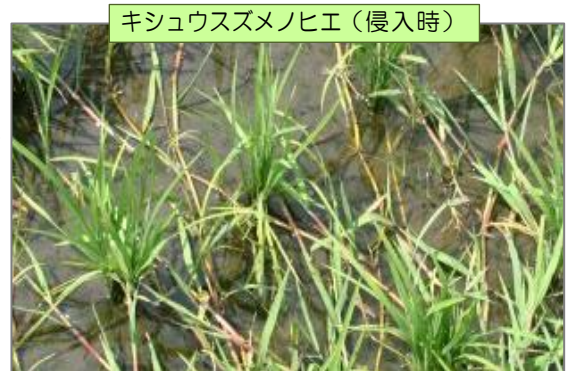
匍匐性雑草の「キシウスズメノヒエ」や「アシカキ」は、畦畔から侵入するイネ科雑草であり、外観が似ていますが、効果のある除草剤が異なるため、注意が必要です。

【見分け方】

キシウスズメノヒエ→節に長い毛がわずかにある。
アシカキ→節に密集した毛がある。

■ 初中期除草剤による防除

初中期除草剤を移植時に使用することより、匍匐性雑草の圃場への侵入を遅らせたり、代掻きで切断した茎の再生を防いだりすることができます。



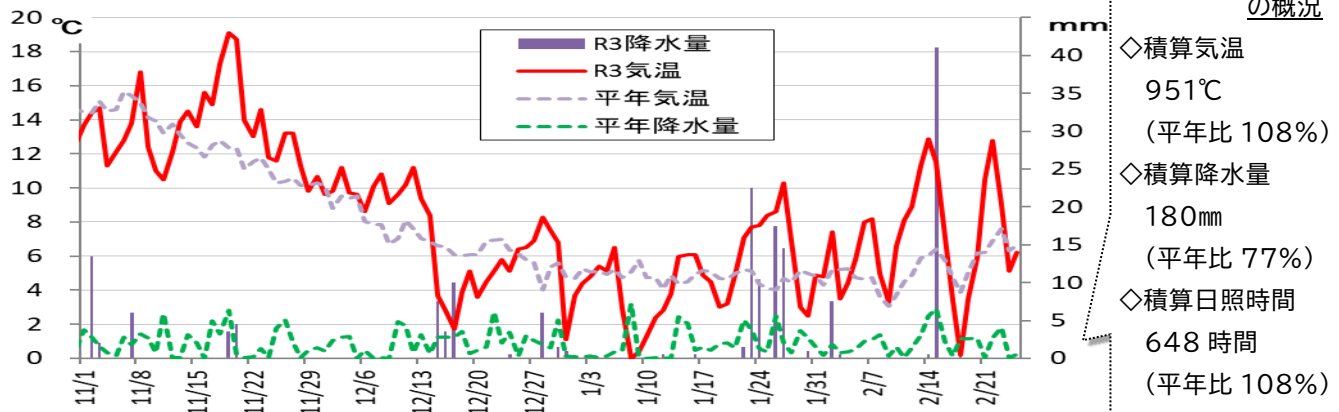
雑草名	有効成分名	農薬名(一例)
キシウスズメノヒエ	トリアファモン	プライオリティ 1 キロ粒剤
アシカキ	ベンゾピシクロン※、ピラクロニル	シリウスエグザ 1 キロ粒剤

※「ベンゾピシクロン」は、一部の水稻品種に薬害を発生させるため使用にはご注意ください。

気象概要と麦の生育状況

現時点で麦の生育は、平年と比較して積算気温がやや高く、日照時間もやや多いため、良好です。11月上旬に播種した圃場の生育ステージは、平年と比較すると小麦は「早い」、大麦は「やや早い」です。

■気象概況



■現在の生育状況 (11月上旬播種の場合、2月19,22日調査)

地域	品種	平年との比較		
		莖数	葉齢	葉色
桑名・木曾岬	小麦「さとのそら」	やや多い	早い	同程度
いなべ・東員	小麦「あやひかり」	多い	早い	同程度
	大麦「ファイバースノウ」	多い	やや早い	同程度

(平年：直近5カ年の平均)

麦の今後の管理

名古屋地方気象台の1か月予報(令和3年2月25日発表)によると3月の気温は高い見込み、降水量は多い見込みです。分施肥体系の場合、登熟歩合向上・粒の充実向上のために、穂肥を施用しましょう。また、湿害を回避し、収量増加・等級アップを図りましょう。

■分施肥の穂肥

種類	内容	時期	窒素目安量	施用量(オール14の場合)
小麦・大麦	2回目の追肥	3月中旬 (止葉抽出始期)	1.5~2kg/10a	10~15kg/10a

※大麦は、施用量が多かったり、時期が遅かったりすると、硝子粒の増加につながります。生育状況を確認しながら、適期に適量を施用するようにしましょう。

■排水対策

麦は湿害に弱く、特に出穂期以降の湿害は、収量減や等級・品質ランクの低下につながり、収入減となります。一日近く滞水すると約160kg/10a(約21,000円/10a)の減収となる調査データもあります。

湿害を回避するために、排水対策を徹底しましょう。

<収穫まで明渠を補修・維持しましょう！>
明渠の連結や、排水溝と排水口の連結を点検し、ほ場内に水を停滞させないようにしましょう。

